

議会運営委員会 視察報告

令和2年1月30日・31日に先進地視察として、愛知県岩倉市議会「議会サポーター制度」と「財務常任委員会」、三重県伊賀市議会「予算・決算各常任委員会」と「タウンミーティング」等を視察しました。

○岩倉市議会

○岩倉市は面積10^{km}、人口5万人弱、名古屋市のベッドタウンとして発展した市であり、外国人労働者も多い。

○議会サポーター制度設置の背景、経過等については、議会の中から声が上がり、議会の運営や改革について、市民から多岐に渡り意見を聞くことを目的として設置した。

サポーターから出された意見は推進協議会・議会運営委員会に諮り回答している。また議場や他市視察対応時にもサポーター席があり同席することもできる。



傍聴席の最前列がサポーター席
(愛知県岩倉市)

○財務常任委員会については、平成23年度に議長を除く2つの常任委員会(各7人)の他に、予算・決算は財務常任委員会(議長を除く14人、決算時は監査委員を除く)を設置した。



愛知県岩倉市

○伊賀市議会

○予算・決算各常任委員会は平成23年度地方自治法改正に合わせ、議員の発議により設置された。どちらも委員長は副議長が副委員長は総務常任委員長が務め全議員が委員となっている。両委員会は議長を除く。決算委員会は監査委員を除く。全員審査のメリットとして、過去の審査経過を十分把握した審査が可能、課題としては質疑に対する答弁に時間を要し、答弁に偏りがあるため、事前通告制について研究している。

○議会報告会はこれまで10年間実施してきたが、内容がマンネリ化していた事もあり、平成29年度からタウンミーティングに変更した。他人の意見を否定しない等の約束事を作り、

ワークショップ方式でグループの発表は出席した市民が行う。少人数のグループなので意見が言いやすい。気軽に参加できる。住民の満足度は高く、出された意見は、各常任委員会に割り振りしたり、議員個人の一般質問にも活用されている。



三重県伊賀市

○両市とも予算・決算に関する委員会を、それぞれ平成23年度から常任委員会として設置し、ほぼ全員の議員が関わり、より慎重審査がされており、本市議会も参考にさせて頂きながら、引き続きしっかりと検討していきたい。

タウンミーティングについては塩尻市議会の議会報告会の取り組みとほぼ同様な取り組みと感じた。